

	質問	回答者	回答
1	御質問 海岸漂着ごみ調査結果に関し、従来漂着ゴミの7～8割が陸域からといわれておりましたが、本結果では5～6割程度と低くなっております。差異に関する何かコメント等あれば頂きたい。	国土交通省 寺石様	調査が個数ベース、重量ベースであるかや調査対象品目等の違いにより、差異が生じる可能性があると考えられます。
2	米野様にご紹介頂きました ⑥海洋ごみ発生抑制対策等事例集 の中の、「河川ごみの流出防止対策(河川や小水路等での回収)事例」ですが、海外でのもう少し大掛かりな取り組みとして、オランダのNPO「オーシャン・クリーンアップ」により「インターセプター」、またアメリカの「ミスタートラッシュホイール」という事例がございます。 参考：インターセプター https://www.eco-online.org/news-2019-10-28/ 参考：ミスタートラッシュホイール https://switch-news.com/goodnews/post-47473/ また、先述のNPOの研究では、日本の荒川、多摩川は、世界でも特にごみ流出の多い河川と挙げられております。 上記のような点に関しまして、国内の取り組み等がございましたら、是非お伺いしたいと思っております。	環境省 米野様	河川ごみ回収事例について、⑥「海洋ごみ発生抑制対策等事例集」の他に、③「河川ごみ調査参考資料集」にも記載がありますので、ご覧ください。 また、環境省が展開している「プラスチック・スマート」のWebサイトに、自治体や企業等の取組が登録されていますので、そちらもご確認ください。 http://plastics-smart.env.go.jp/
3	千葉県松戸市に住む者ですが江戸川河川敷のゴミが非常に気になります。荒川クリーンエイドさんのような組織や仕組みがあるといいなと思っています。どうしたらよろしいでしょうか。普段は町のゴミ拾いをしています。	関東地方整備局	荒川クリーンエイドのような組織の立ち上げには、河川管理者や関連自治体の協力、支援のほか、主体となって取り組める市民団体がいることが前提となります。 荒川クリーンエイドも、官民連携の協議を繰り返して今の仕組みを作り上げたと認識しております。 江戸川には現在このような組織や仕組みはありませんが、江戸川河川敷においても、例年5月末頃(5/30のゴミゼロデーに近い日曜日)に、江戸川クリーン大作戦(国交省江戸川河川事務所及び江戸川沿川2区11市町が主催)を開催しております。(令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で中止) この活動では、沿川の住民・団体が積極的に参加し、江戸川河川敷のゴミ拾いなどの活動を実施しています。
4	当方は多摩川河口でボランティア活動をしておりますが、上流からも海からもゴミが集まってくるので、大田区の負担が大きく、ゴミの回収をしても処分がままなりません。流れ着いた先で処分するという取り決めは、自治体間の不公平感があるのではないかと思います。荒川クリーンエイドさんでは、取り決めの際そういった問題をどのようにクリアされたのでしょうか？ぜひご教示願いたいです。	(会場にて) 関東地方整備局	・荒川でも自治体によって量の多い少ないがあるが、取り決めがあることによってそれぞれの自治体にご理解され回収いただくことができている。(元・荒川クリーンエイド・フォーラム 伊藤) ・以前から、河川事務所からの働きかけもあり、自治体も動いてくれるようになってきている。(金子) 荒川では、下流だけでなく、上流や中流でもゴミの処分に苦慮しており、一概に下流だけに負担がかかっている訳ではありません。 荒川クリーンエイドの活動では、荒川下流河川事務所、沿川2市7区が連携し、荒川下流部ゴミ対策協議会の中で、クリーンエイドの活動やゴミ処分の方法等を議論して決めていきました。 なお、ゴミ処分費については、各市区の年度予算に限度がありますので年度末が近づくとクリーンエイドの活動も調整を行いながら実施しております。